



旧社地の熊野山(天狗山)の遠望



令和4年1月

第121号

出雲一宮  
熊野大社  
崇敬会

日常の五つの心

1. 「ハイ」という素直な心。
2. 「すみません」という反省の心。
3. 「オカゲサマ」という謙虚な心。
4. 「アリガトウ」という感謝の心。
5. 「ワタシガシマス」という奉仕の心。

世の中では昔から、古代にあつて出雲国（現在の島根県東部）の熊野、また熊野大社と、紀伊国（現在の和歌山県）の熊野、熊野大社（熊野本宮大社）の両方に同名の地や神社が存在することをめぐり、どちらが先行存在し伝搬していったのかという大きな歴史論争が続いております。

この論争は専門の研究者を問わず一般の方々にまで及び、何方もかなり知識をお持ちです。境内で

古代の熊野大社  
— 出雲国と紀伊国 —

熊野大社宮司 熊野・高裕

の参拝された方へのご挨拶時等にこうしたことについてご質問をお受けしたりし、ご自説を承ることもよくあります。

ところで、こうした所謂「出雲先行地説」と「紀伊先行地説」の両説が存在している中で、年間を通じて紀伊国である現在の和歌山県からの参拝の方も多いのですが、その内で、時々「出雲先行地説」を主張なさる方がいらっしゃいます。先年に参拝された方のお

一人で、和歌山県の日高地方からの方とお話をする機会がありましたが、「出雲先行地説」の自説を説かれるに併せて、ご持参のご当地の『地誌』をみせて戴きました。それには「彼徒《※出雲人》が出雲の熊野より紀伊の新熊野へ其祖神を勧請するや、途次本郡を經由し熊野神は一時本郡に留まり坐せること、諸種の古伝を総合して彷彿すべし」とありました。ここに島根県と和歌山県双方のこれまで

の先行地説論を概観しますと、出雲国であった今の島根県（県東部）では和歌山県が熊野、熊野大社の大元であるとはあまり耳にしたことがなく、一方の和歌山県では島根県の出雲からの熊野、熊野大社の伝搬の歴史が広く知られている状況のようです。

この歴史の実相は現時点で不明確なままであるものの、常に様々な方々により説明が試みられております。ただ、その説明作業は、

扱う時代が古く、当時の史実の記録、歴史資料の少なさから、時代を経て伝えられた後代の伝承等によるところが自然と多くなるといえます。本来の歴史の解明、理解は史実の記録資料の活用が基本であり、この点が不十分で叶っておらず、残念に思います。

ともあれ、古代の熊野信仰の伝搬について、当社でも古くからこうした伝承をもとに説明してきております。記しますと、

熊野大社に残る言い伝えによると、《※古代》近くの村の炭焼き職人が紀伊国へ移り住んだときに熊野大社の神主がクマノオオカミ（熊野大神）のご分霊を持って一緒に行き、それをまつたのが現在の熊野本宮大社である、としている。

（『熊野大社誌』）

今後、新資料の発見や既存資料の新解釈等によって、いっそう古代の熊野信仰の淵源の歴史研究が深まり、熊野大神さまの御神跡が愈々はっきりと拝せまますよう切に願っております。

# 新年を迎えて

熊野夫社氏子会会長 石倉憲昭

## 新年明けまして

おめでとうございます

令和四年（皇紀二六八二）寅歳を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭にあたり、国の隆昌ならびに皇室のご安泰はもとより、氏子、崇敬者の皆様方のご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

また、苦境に耐へ頓に奉仕される神社職員のご健勝をお祈り致します。

二〇二二年の干支は<sup>みずのえとら</sup>壬寅歳です。

虎は「力」「権威」の象徴（虎の威）を借りる狐は他人の権威をかさにきて威張り散らす小者にあたえられています。

又、権力を持つ人を怒らせるような事をするのは（虎の尾を踏む）と言われます。

手放せない大切な物、秘蔵の

品（虎の子）というのは、母虎は愛情深く、大切に子育てすることになんだ語源であります。

（虎穴に入らずんば虎子を得ず）価値あるものを手に入れたいのであれば時には、危険を冒す覚悟も必要であります。

虎は動の動物です。今年の冬は厳しいと言われていますが、「壬寅」の虎に動いてもらい、春の芽吹きが溢れ、華々しく生まれ変わり（コロナ退散）熊野大社を中心に発展する事を期待し挨拶いたします。



# 謹賀新年

令和四年元旦

宮司 熊野高裕

権禰 宜村尾俊樹

〃 佐藤利哉

亀太夫 岩田晋

仕 補 喜田久美子

〃 安達ひろみ

〃 岩田純子

伶人長 有馬勇

〃 外伶人一同

責任役員 石倉憲昭

氏子会会長 恩田芳和

責任役員 白鹿喜久

〃 神庭昭一

〃 松原吉司

総代会一同

奉養婦人会一同

氏子青年会一同

天狗の会一同

わらくの会一同

清風会一同

自警団

# 新年のご挨拶

熊野大社崇敬会会長 岡崎朝臣

令和四年、新玉の年を迎え、国運の隆昌、ならびに皇室の御安泰はもとより、氏子、崇敬者、各位のご多幸、ご発展を心よりご祈念申し上げます。

かつてノーベル賞候補にもなった文豪三島由紀夫氏は、産経新聞の寄稿の「果たし得ていない約束―私の中の二十五年」というエッセイの中で、「私はこれからの日本に大して希望をつなぐことができない。このまま行ったら「日本」はなくなってしまうのではないかと感じてしまっている。日本はなくなつて、その代わりに、無機質な、からっぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜目がない、或る経済的大国が極東の一角に残るであろう。」と今日の日本の有様を予言しております。

十一月二十五日、市ヶ谷の自衛隊本部において決起された三島由紀夫氏の檄文の中にも「日本の軍隊の建軍の本義とは、天皇を中心とする日本の歴史・文化・伝統を守ることには存在しないのである。―中略―共に起つて義のために共に死ぬのだ。日本を日本の真姿に戻して、そこで死ぬのだ。生命尊重のみで、魂は死んでもよいのか。生命以上の価値なくして何の軍隊だ。今こそわれわれは生命尊重以上の価値の所在を諸君の目に見せてやる。それは自由でも民主主義でもない。日本だ。われわれの愛する歴史と伝統の国、日本だ。これを骨抜きにしてしまった憲法に体をぶつけて死ぬ奴はいないのか。もしあれば、今からでも共に起ち、共に死のう。われわれは至純の魂を持つ諸君が、一個の男子、真の武士とし

て蘇えることを熱望するあまり、この拳に出たのである。」とあり、三島氏は憲法改正を叫ばれ、自衛隊員が、天皇を中心とする真の国体を守る軍隊になるための覚醒を促されたのでした。

三島氏の義拳から日本は約半世紀経ちましたが、日本を取り巻く、中国、ロシア、北朝鮮などの軍事行動は日増しに激しくなり、中国の尖閣列島への度々の領海侵犯や韓国竹島占拠、ロシアの北方領土の領有、北朝鮮のミサイル発射等々日本を取り巻く近隣諸国の軍事的侵犯は枚挙にいとまありません。

天皇陛下は新年を迎えるにあたって国安かれ、民安かれと国民の安寧と世界平和を願われておられますが、我々も熊野の大神様、スサノオの神様のご神縁に今年も結ばれ、祈りも清らかに本年も報恩感謝の真を捧げて、日本及び世界の平和に貢献して参りたいと存じます。

真に有難うございました。

# 賀正

令和四年 元旦

熊野大社崇敬会

- 会 長 岡崎朝臣
- 副会長 石倉憲昭
- 理 事 川本貢功
- 〃 坂本憲治
- 理事兼監事 幡好明
- 理 事 吉村博勝
- 〃 藤井秀敏
- 〃 小松昭夫
- 〃 森田克己
- 〃 青砥誠一
- 〃 恩田芳和
- 〃 白鹿喜久
- 〃 神庭昭一
- 〃 松原吉司

### 令和四年の干支

(皇紀二、六八二年)

## 壬寅絵馬

みずのえとら

お頒ち料 (大)八〇〇円  
(小)五〇〇円

〔今〕年は、寅年であります。

清々しく新年をお迎えになり今年も健康で幸福な佳き年でありますようにご祈念の上、御社頭で授与いたしております。

この絵馬は「寅」年に因み大神さまから幸福の「ご縁」が戴かれますよう、造形作家の藤田丈氏が「まごころ」をこめて描かれたものでございます。



初詣・皇室の弥栄と世界の平和と人々の幸福のためにいのりましょう。



### 生々繁栄を祈願

## 熊手

お頒ち料 三、五〇〇円

〔熊〕手は本来穀物をかき寄せるものであります。その穀霊を人間の靈魂と一体化して考え、霊をかき寄せ人間の再生をもたらす幸運を得るという意味の縁起物とされています。

当社では生々繁栄、会社発展、商売繁昌、家運隆昌を祈願して授与いたしております。

### 開運招福・厄除 家内安全・商売繁昌

## 破魔生矢

お頒ち料

(大)大絵馬付 二、〇〇〇円  
(小)小絵馬付 一、五〇〇円



〔家〕内安全、商売繁昌、開運招福、厄除を祈念いたしました「寅」の干支の絵馬付の

## 破魔生矢

をお受けになり「家庭」「会社」等にお祀りすることによって、悪魔を打破、邪気を退散させ、大神さまの「みめぐみ」を戴かれご家族の皆様がご健康でお幸福な日々をお過ごし下さい。

縁起物授与所でおわかりたいしっております。

### 福運を迎える

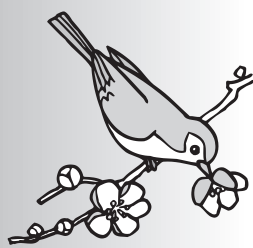
## 福笹

お頒ち料 一、〇〇〇円

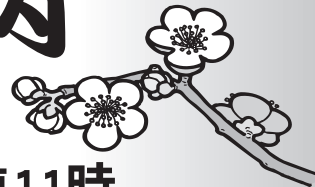


〔家〕内安全、商売繁昌を祈念いたしております。ご参拝の際お受けになり福運を戴き佳き年でありませうにいたしましょう。

祝祭日には国旗を掲げましょう。



# 節分祭のご案内



**2月3日** 節分祭 午前11時  
豆撒神事 午後2時

二月三日（節分の日）午前十一時、「節分祭厄除招福諸願成就祈禱祭」を斎行いたします。

節分祭は正月と同じように、冬から春に移り変わる節目であります。心身共にすがしく清らかで、厄難を除き福運を戴くよう大神さまにご祈願をする大切なお祭りです。

この日「節分祭厄除招福諸願成就祈禱」を始め左記の「願いごと」をお取り次ぎいたしますので、「ご祈念」をおさめられまして、しあわせの「ごえん」を授かり健康で幸福な日々をお過しになりますようご案内申し上げます。

午後二時からは、宮司を始め県内の知名人（福男、年男）の皆さんのご奉仕によって豆撒き神事を執り行います。

引き続き各自で新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、お誘い合わせの上、参拝下さいますようご案内申し上げます。

## 記

### 一、願いごと

節分祭厄除招福諸願成就・家内安全・商売繁昌・交通安全・会社発展・従業員安全・厄除・縁結・進学合格成就・学業成就・安産・五穀豊穡・病気平癒・身体健康・海上安全・大漁満足・その他ご希望の願いごと

### ご祈念料伍千円以上（二つの願いごとにつき）

同封の振替用紙をご利用になりお申込み下さい。又、ご参拝の折、ご社頭でも受付いたしております。

御祭神スサノオノ大神さまが蘇民将来に「茅の輪」を授けられ厄難を打ち払いお助けになったと云う故事に因み、除災招福、心気蘇生を祈願いたしました「節分祭茅の輪」を授与いたしております。



## ご祈念のご案内

生命を与えて下さって日々ご守護を戴いている大神さまへ感謝の心をささげ、更に新しい生命力・御霊力を戴き、めまぐるしく変化していく現代社会を心惑うことなく正しく生きぬいていくことが出来ますように、秋のおおみまつりにご祈念のお取次ぎをいたしております。お申込み下さい。

### 一、ご祈念料 伍千円以上

（二つの願いごとにつき五、〇〇〇円以上です）

#### 一、願いごと

家内安全。商売繁昌。良縁。会社発展。従業員安全。厄除。交通安全。五穀豊穡。安産。病気平癒。進学成就。諸願成就。海上安全。大漁満足。その他ご希望の願いごと。

一、ご祈念を希望されます方は同封の振替用紙に、ご住所、ご氏名、ご年令、ご祈念料を明記してお申込み下さい。

一、ご祈念をしたお守はお送りいたします。又ご参拝の際は受付所にお申し出下さい。

尚、電話、ファックス、又ご希望の日、何時でも受付いたしております。当社へお問合せ下さい。

令和四年壬寅歳

### 新春初詣

## 十四万人で賑う

新しい年を熊野大社で迎えるようと深夜にもかかわらず多くの方が境内に列を作り、日付が変わる瞬間を待った。午前十時の初神楽が流れる中、今年こそは良い年となるよう祈る姿が後を絶たなかった。

午前六時には新年を祝う歳旦祭が斎行し、国家の繁栄、世界平和、人々の幸福を祈った。

一月二日には舞初祭を斎行し、小学生は「幣舞」中学生は「浦安舞」を数か月ぶりに奉納し、今年一年元気に奉仕が出来ますようにと祈った。

正月三日の人数は十四万人となった。



## 神在祭

(十一月十四日～十一月三十日)

十一月十五日(旧暦十月十日)

全国の八百万の神々をお招きし、神在祭が厳粛に奉仕された。本社で祝詞を奏上した後、伊邪那美神社へ移動して玉串が捧げられた。

前日の十一月十四日には伊邪那美神社に設置した神籬ひもろぎに八百万の神々を迎える神迎祭が奉仕され、十一月三十日に神々をお送りする神等去出祭が奉仕され、神在り祭の期間を終えた。



## 八雲町出身

### 戦没者慰霊

## 平和祈願祭

(九月二十五日 午前十時)

八雲町出身戦没者の英霊をお慰めし平和を祈願する祭典が八雲町内の神職・住職合同により本年は神式優先で厳粛に斎行された。

コロナ対策のため本年も参列者を絞り、ゆうあい熊野館多目的広場より慰霊碑を遙拝して執り行われた。

斎主の祝詞奏上、導師の読経が行われ、参列者が玉串拝礼を行い、英霊のご冥福をお祈りした。



## 熊野大社崇敬会 入会のおすすめ

熊野大神の御神徳を奉戴し、敬神崇祖の誠を致し健全なる国民精神の高揚に努め広く国家社会の繁栄に寄与するを目的とし、その達成のため

- ①熊野大神の御神徳発揚の為祭典、神事、行事及び諸建宇整備と保持に奉賛。
- ②会員相互の親睦を計る為機関紙を発行。
- ③必要とする事業を行う。

### 一、会費

- 個人会費(年額)参千円以上
- 団体会費(年額)五千円以上
- 一、待遇

- (イ)会員誕生日は健康と繁栄和楽を祈願、日供祭は全会員の安寧を祈願します。
- (ロ)春秋大祭にご案内します。
- (ハ)新春神迎の「御神符」「千支の絵馬」をお届けします。

- (ニ)会員章を差し上げます。
- 熊野大神さまから幸福のご縁が戴かれますようご入会のご案内を申し上げます。
- お知り合いの方々へのご勧誘を申し上げます。

# 例大祭

(十月十四日 午前十時)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、神社役員のみ参列のもと例大祭が厳粛に執り行われた。

巫女舞も大事を取って中止とし、神前に様々な御供えを奉り、大神さまのご守護に感謝する祝詞を奏上するのみのお祭りとなった

その後参列者代表による玉串拝礼が行われ、参列者はそれぞれ神前で深い祈りを奉げ、来年こそは盛大に大祭を肅行出来るよう祈った。

本年も残念ながら神楽の奉納や餅まき行事は中止となった。



# 鑽火祭

— 亀太夫神事 —

(十月十五日 午前十時)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、神社関係者等の少数の参列のみで鑽火祭が執り行われた。

出雲國造家の繁栄等を祈念して祝詞が奏せられ、次いで出雲大社より「神餅」が奉献された。そして亀太夫が「神餅」の出来栄えを吟味し、来年こそは良い出来の「神餅」を奉納するよう出雲大社に申し立て、火を起こす神器である鑽火器が授与された。

その後今年はお雲國造に代わり出雲大社千家隆比古権宮司が百番の舞を奉仕され、大神さまのご神意に叶う神明奉仕を誓われた。奉献された「神餅」は切り分けて参拝者に授与された。



一月・二月・三月

## おまつりの日

一月中

- 一日 歳旦祭
- 二日 舞初祭
- 五日 奉賽祭
- 十五日 月次祭 奉賽祭

二月中

- 一日 早旦祭 奉賽祭
- 三日 節分祭厄除招福諸願成就祈禱祭

当日午前十一時節分祭厄除招福祈禱祭を肅行。

- 十一日 建国記念祭
- 十五日 月次祭 奉賽祭
- 十七日 祈年祭
- 二十三日 天皇誕生日祭
- 二十八日 御狩納祭

三月中

- 一日 早旦祭 奉賽祭
- 十五日 月次祭 奉賽祭
- 中旬 御狩感謝祭
- 下旬 奨学祭 巫女交代祭
- 下旬 立志お祝いの祭

### 御狩安全祈願祭

(十月三十一日 午後二時)

大日本猟友会会長佐々木洋平氏をはじめ主に鳥根県東部の猟友会会員が参列、また全国各地から多数のお供えが奉納され、今季の狩猟の安全と豊猟、農作物への鳥獣

による被害の減少を祈る御狩安全祈願祭が斎行された。祝詞奏上の後、今季の狩猟の出来を占う的射が行われた。例年であれば、祭典後、直会が行われ会員同士の親交を深めあうのが慣例であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に続き今年も中止となった。

### 献 詠

#### 松江短歌の会

銀漢へ宇都井駅から出る夜汽車ジヨバンニ翁も乗車している

塩田直也

この世にはもうゐない筈のあの人夢に来て誘ふ三瓶山にのぼる

酒井悦子

世の人の移るに似たり山茶花は咲き初め芙蓉に終の花小さく

宮本美保子

道祖神家並と共に消えゆきしさいか二丁目つね通ふ道

古志節子

十一月の空は気まぐれビルの上に月あるままに雨の降りだす

安部歌子

老女性をカートに乗せて買物老男性見れば吾が身を照らす

古和嗣男

恵利さんがひとりのランチはかなしいといひたり南瓜のタルトを食べつつ

弘井文子

### 新穀感謝祭

(十一月二十八日 午後二時)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、熊野各地区から代表者のみ参列とし、新穀感謝祭が肅々と斎行された。

松江市は夏に全国区のテレビに報道されるぐらい記録的な豪雨に見舞われたが、幸いにして今年も神前に堆く積み上げるほどの新米が収穫でき、大神さまに収穫の秋を迎えられたことを感謝し、来年も豊作となるよう祈ることができた。

### お煤祓

(十二月二十日 午前九時)

新年を迎えるための準備が着々と境内で進められる中、今年の汚れを今年のうちに祓う神事が行われた。

神職が昔ながらの笹竹を使い普段手入れの行きとどかない高所を中心にホコリを落とし、また清風会の方々が照明についた汚れをふき取り、殿内を明るくした。

### 大祓・除夜祭

(十二月三十一日)

今年の間身についた罪穢れを祓い、新年を迎えるための準備をする大祓を斎行した。

参加者は来年こそはコロナ禍が収束し、元の健やかなる生活へと立ち返るよう祈り、大祓詞を奏し切幣で罪穢れを祓った。

